



## 熊谷市立太田小学校

清水 修

### 一 本校の沿革

本校は、明治六年十一月。永井太田村阿弥陀寺に創立。明治十七年七月、町村併合制度により、太田尋常小学校と改称。明治二十二年四月、町村制施行により永井太田、飯塚、道ヶ谷戸、八木田、上江袋、原井、市ノ坪七地区を以つて太田村を組織。第一教場を阿弥陀寺、第二教場を能泉寺に置く。明治二十六年太田修得尋常小学校と改称。明治四十一年校名を太田尋常小学校と改称。分教場を廃止した。同年十月、飯塚一四一四に校舎新築移転。開港記念日として制定する。明治四十二年高等科設置。校名を太田尋常高等小学校と改称。昭和十六年国民学校令が公布され、校名を太田国民学校と改称。昭和二十二年、六・三年新教育制度公布後、埼玉県大里郡太田村立太田小学校と改称。昭和三十年、町村合併。校名を妻沼町立太田小学校と改称。昭和四十

八年十一月、創立百年記念式典を実施。平成十七年十月熊谷市と大里町・妻沼町が合併し、現在に至る熊谷市立太田小学校と改称された。地域、保護者の方々、「太田小」の子ども達に、深い愛情を注いで見守り、支え続けていただいた。令和七年三月末日を以つて太田小の長い歴史が幕を閉じる。

### 二 校章・校歌制定に係るエピソード

#### 1 校章

- ① 昭和四十五年制定
- ② 桜の花びらの模様。桜の花びらに囲まれるようにして、「太小」の文字。子ども達が未来に花開くという願いを込めて草案制定された。

#### 2 校歌

- ① 昭和二十五年制定
- ② 一番冒頭歌詞の「やまなみ」が、太田小の合言葉「やさしく まじめに なかよく みんなで」として、子ども達の心に浸透し、学校生活を送っていた。統合、卒業後も校歌とともに忘れないでほしい合言葉である。

熊谷市立太田小学校校歌

作詞 下山つとむ 作曲 下総暁一

一 山脈は 山脈は 遠くかすみて

げんげ花 げんげ花 田の面をかざる

われらが村よ 太田太田 ああ太田

二 千町田の 千町田の 中にそびえて

いつかしの いつかしの 垣をめぐらす

われらが母校 太田太田 ああ太田

三 人の世の 人の世の 正しきふみて

すこやかに すこやかに 生きんと誓う

われらがつとむい 太田太田 この太田小学校

太田小学校校歌

The musical score is written in G major and 4/4 time. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The score is divided into three systems, corresponding to the three verses of the lyrics. The first system includes the first verse and the first line of the chorus. The second system includes the second verse and the second line of the chorus. The third system includes the third verse and the third line of the chorus. The piano accompaniment features a steady bass line and a more active treble line with chords and eighth notes.